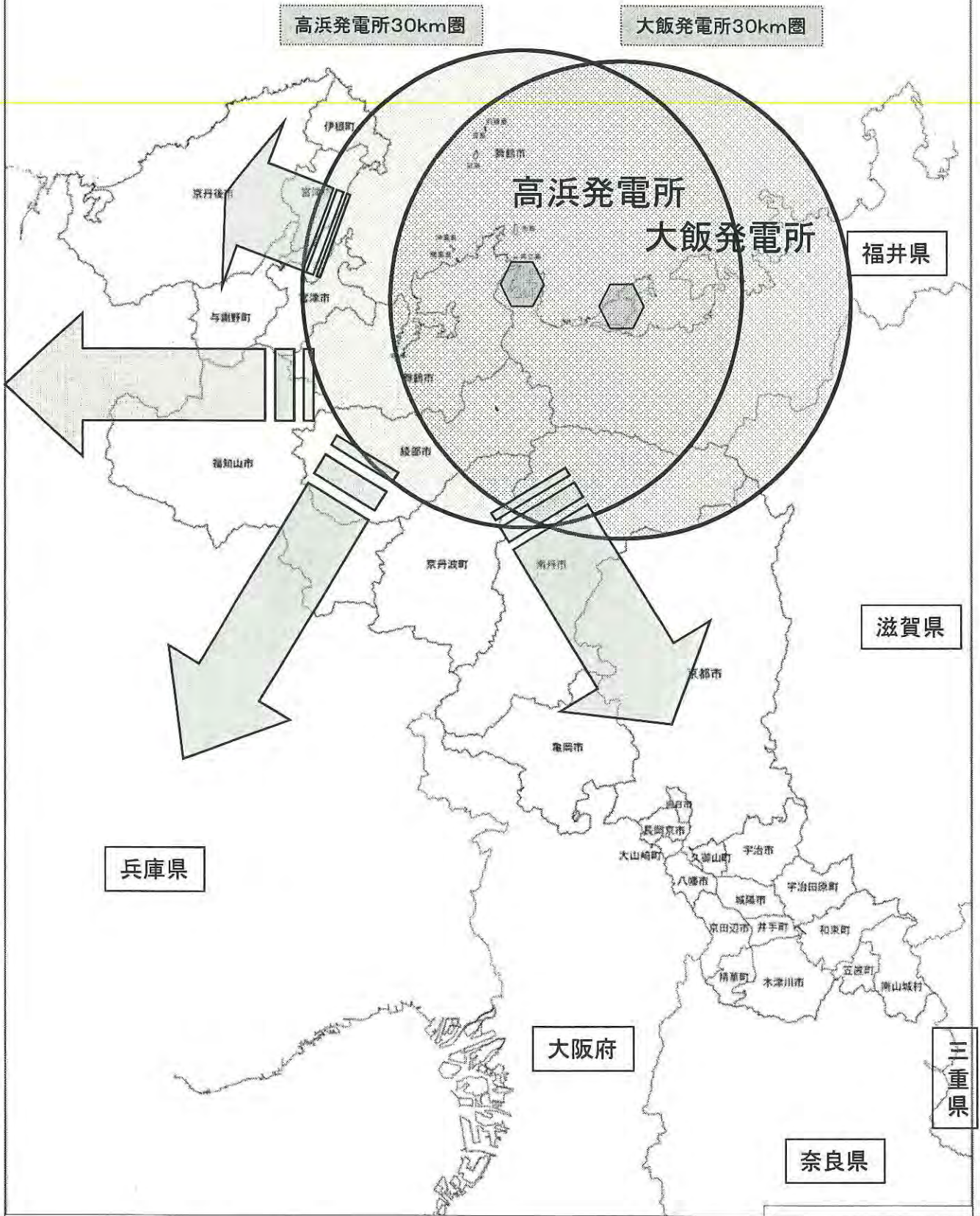


広域避難の基本パターン(検討案)



原発周辺(5km・30km圏内)人口比較

(H24.3.1)
単位:人

○高浜発電所

	対象市町村	30km圏	5km圏
京都府	舞鶴市	89,899	90
	綾部市	9,553	0
	宮津市	20,614	0
	南丹市	4,339	0
	京丹波町	2,963	0
	伊根町	1,643	0
	福知山市	324	0
	計	129,335	90
福井県	おおい町	54,000	4,600
	高浜町		
	小浜市		
	若狭町		

○大飯発電所

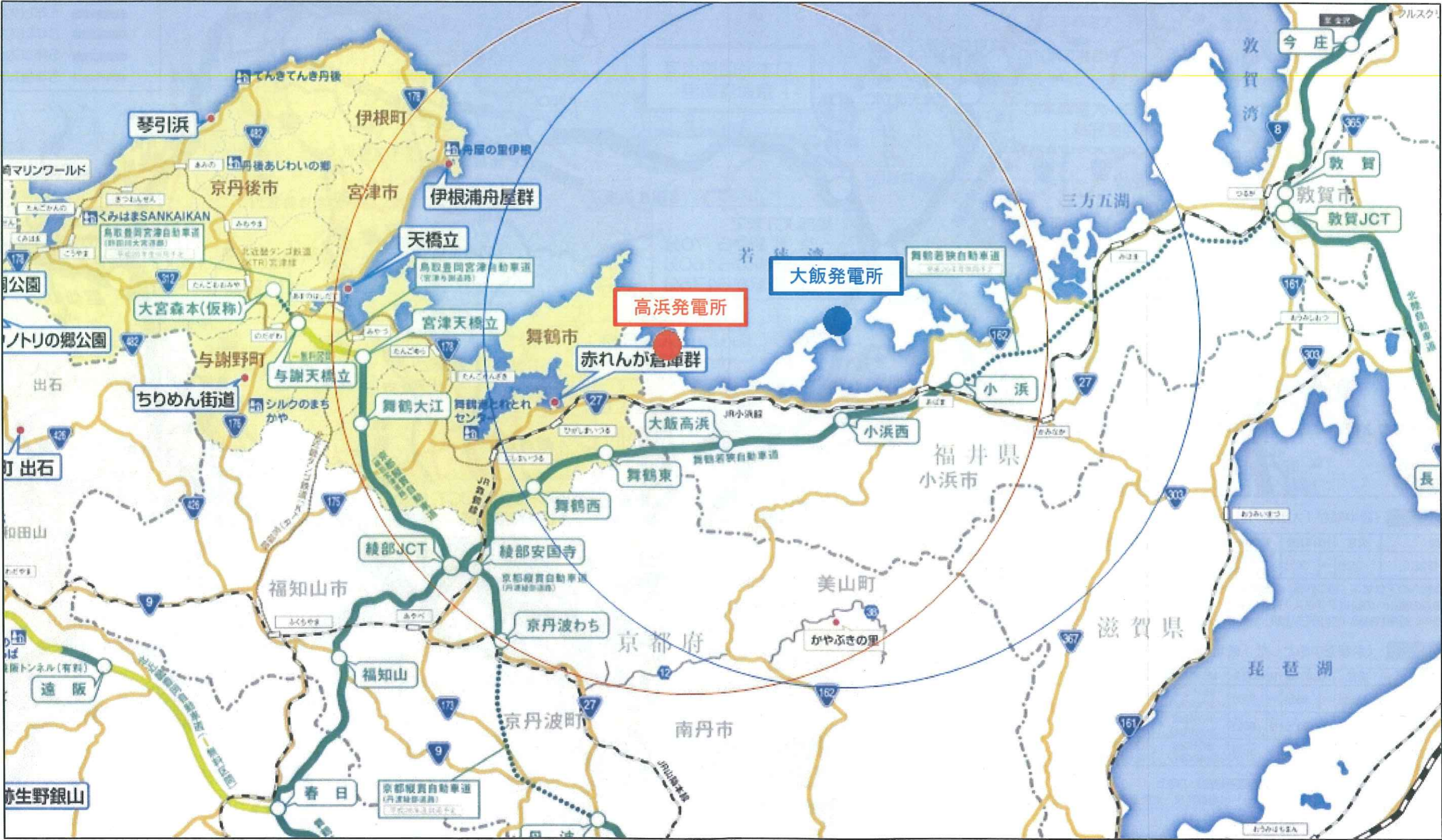
	対象市町村	30km圏	5km圏
京都府	舞鶴市	63,863	0
	綾部市	1,950	0
	南丹市	2,282	0
	京丹波町	57	0
	京都市	0	0
	計	68,152	0
福井県	おおい町	78,000	1,000
	高浜町		
	小浜市		
	若狭町		
	美浜町		

要配慮者の広域避難対策案について

対象要配慮者		避難先施設
医療施設入院患者 9病院、10診療所 約1,150人(①)	精神 約350人 一般、療養 約800人	<p>○避難先市町村の病院施設、福祉施設</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 行政（府、関係市町村）と医療・福祉関係団体が共同して「災害時要配慮者避難支援センター（仮称）」を立ち上げ、災害時要配慮者の受入施設の要請・確保及び受入を調整 </div> <p>* 京都府内の施設で対応できない場合は 関西広域連合と調整</p>
福祉施設入所者 79施設 約2,400人(②)		
在宅要配慮者 約13,700人	特段の配慮が必要な重度の方（寝たきり高齢者等） 約2,400人 (③)	<p>○避難先市町村の避難施設（体育館等）</p> <p>* 一般避難者と一緒に避難</p> <p>* 要配慮者情報に基づき、避難先市町村が開設する避難所に「福祉避難コーナー」を設置</p> <p>* 京都府内の施設で対応できない場合は 関西広域連合と調整</p>
	その他 約11,300人	
入院・入所が必要な方 ① + ② + ③	約5,950人	

平成24年12月27日 京都府防災会議

地域防災の見直し部会 資料4関連



高速道路の開通予定 人とモノの流れが変わる！



凡例

黒線	供用中
青線	1年以内の開通
緑線	3年以内の開通
赤線	5年以内の開通
黄線	5年後以降に開通

8ヶ月後[平成24年度] (府中部が「大動脈の名神高速」と直結)

区間	現在	H24年度末	総短縮時間	所用時間が同等の箇所
①大山崎JCT～丹波IC	55分	⇒ 30分	25分短縮 (45%短縮)	大山崎JCT～宝塚・西宮:30分

- ★南丹地域から京都駅へのアクセス (第二外環、京都高速等経由) の向上
- ★京阪神から亀岡拠点の嵐山への観光アクセス (保津川下り、トロック列車、JR) の出現
- ★平成25年度下半期中に阪急京都線「西山天王山駅」が開業→高速バスとエレベータ直結 (全国初)

3年以内[平成26年度] (京都を中心とした「畿北ループ道」が完成)

区間	現在	H24年度末	H26年度末	総短縮時間	所用時間が同等の箇所
①大山崎JCT～宮津天橋立IC	110分	⇒ 85分	⇒ 75分	35分短縮 (32%短縮)	大山崎JCT～関西国際空港:75分
①大山崎JCT～舞鶴西IC	100分	⇒ 75分	⇒ 65分	35分短縮 (35%短縮)	大山崎JCT～洲本(淡路島):65分
②舞鶴西IC～敦賀JCT	100分	⇒	⇒ 70分	30分短縮 (30%短縮)	敦賀JCT～小牧(愛知県):70分

- ★北部地域から京都駅へのアクセス (京都縦貫、京都高速等経由) の向上
- ★舞鶴 (天橋立) と中京 (北陸) 圏域への物流・観光ルート (舞鶴若狭、北陸道等経由) の出現

5年以内[平成28年度] (府の背骨が完成)

区間	現在	H24年度末	H26年度末	H28年度末	総短縮時間	所用時間が同等の箇所
①大山崎JCT～大宮森本IC	140分	⇒ 115分	⇒ 105分	⇒ 90分	50分短縮 (36%短縮)	大山崎JCT～和歌山:90分
②大山崎JCT～木津IC	30分	⇒	⇒	⇒ 25分	5分短縮 (16%短縮)	-

- ★木津川市 ↔ 京丹後市が直結し、府内全域が半日圏となる (120分)